

人生100年時代の到来！ お金の守り方・殖やし方



三菱UFJモルガン・スタンレー証券



 **金融資産との付き合い方**

 **分散投資について**

【Fact】金融資産との付き合い方

- 金融商品は、原則としてリスクがあります。リスクの対価が収益と考えましょう。
- 金融商品は、収益性・安全性・流動性(換金性)の3つの角度からチェックしましょう。



虎穴に入らずんば、虎子を得ず。
リスクを取らなければ見返りはありません。

【Fact】 将来は予測不能

(期間:2007年~2016年)

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	全期間
			83.7%			40.5%	54.6%	41.3%			91.2%
			39.5%			39.2%	54.4%	28.3%		10.3%	57.2%
			37.6%			33.8%	41.2%	22.2%		8.6%	55.2%
			33.2%	34.0%		32.5%	29.1%	21.0%		7.2%	47.1%
↑	31.2%		27.1%	5.9%		32.4%	24.1%	19.4%		5.7%	34.8%
	4.6%		7.6%	3.9%		27.7%	22.6%	16.1%	12.1%	4.5%	32.7%
	4.4%		7.3%	3.8%	1.9%	20.9%	18.6%	11.7%	2.1%	3.4%	26.6%
	2.7%		6.1%	2.4%	1.8%	20.9%	15.0%	10.3%	1.6%	3.0%	21.8%
	1.4%	3.4%	1.4%	1.0%	0.1%	1.9%	2.0%	4.2%	1.1%	0.3%	10.1%
↓	-0.4%	-15.5%		-2.1%	-2.0%				-0.9%	-2.7%	
	-2.3%	-28.6%		-2.3%	-8.6%				-1.0%		
	-11.1%	-37.6%		-12.6%	-9.0%				-4.5%		
	-17.7%	-40.6%			-17.0%				-4.9%		
		-49.0%			-22.3%				-14.3%		
		-52.6%			-22.4%						
		-56.1%									
		-62.0%									

8資産分散投資

- 国内債券
- 先進国債券
- 新興国債券
- 国内株式
- 先進国株式
- 新興国株式
- 国内リート
- 先進国リート

上記は、あくまで過去の実績であり、将来の成果等を保証するものではありません。
 (出所) Bloombergのデータをもとに三菱UFJ国際投信作成

3つの分散投資

■ 金融資産の分散 【財産4分法】

- 預貯金
- 有価証券
- 不動産
- 外貨

■ 購入時期の分散

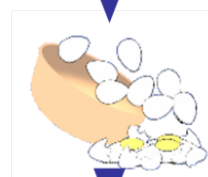
- ドル・コスト平均法

■ 換金時期の分散

- ラダー運用

すべての卵を1つのカゴに入れたい

1つにまとめる



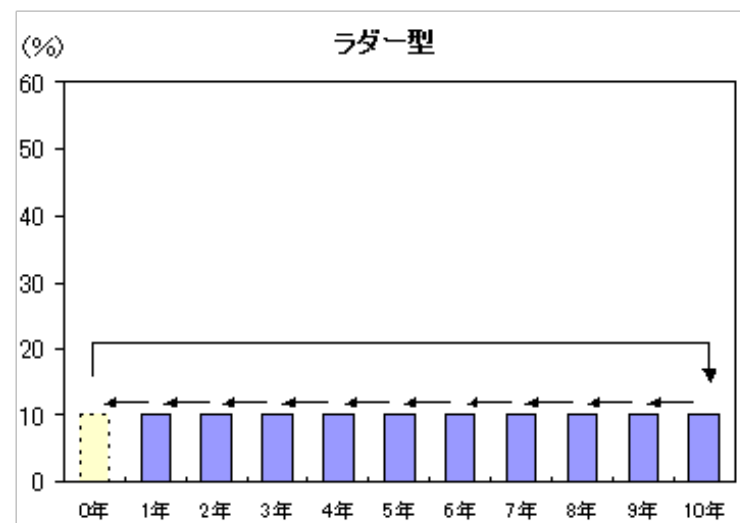
発生する確率が高い

複数に分散する



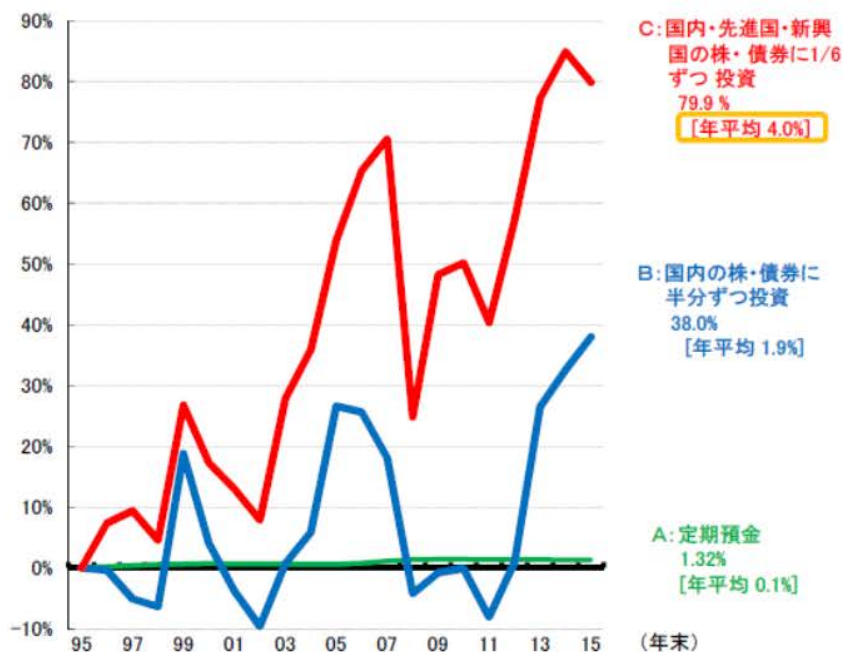
発生する確率が低い

損失が一度に



【検証】分散投資の効果

積立・分散投資の効果

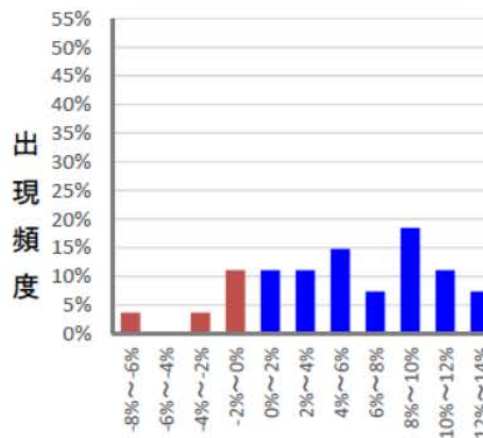


(注) 各計数は、毎年同額を投資した場合の各年末時点での累積リターン。
株式は、各国の代表的な株価指数を基に、市場規模等に応じ各国のウェイトをかけたもの。
債券は、各国の国債を基に、市場規模等に応じ各国のウェイトをかけたもの。

国内外の株式・債券に分散投資した場合の収益率の分布

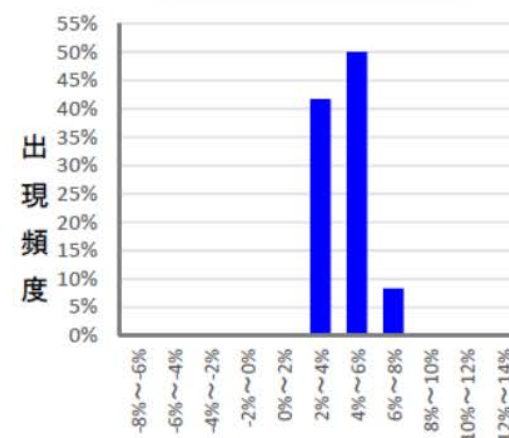
20年の保有期間では、投資収益率2~8%(年率)に収斂。

保有期間5年



100万円が5年後に
↓
72万円~173万円

保有期間20年



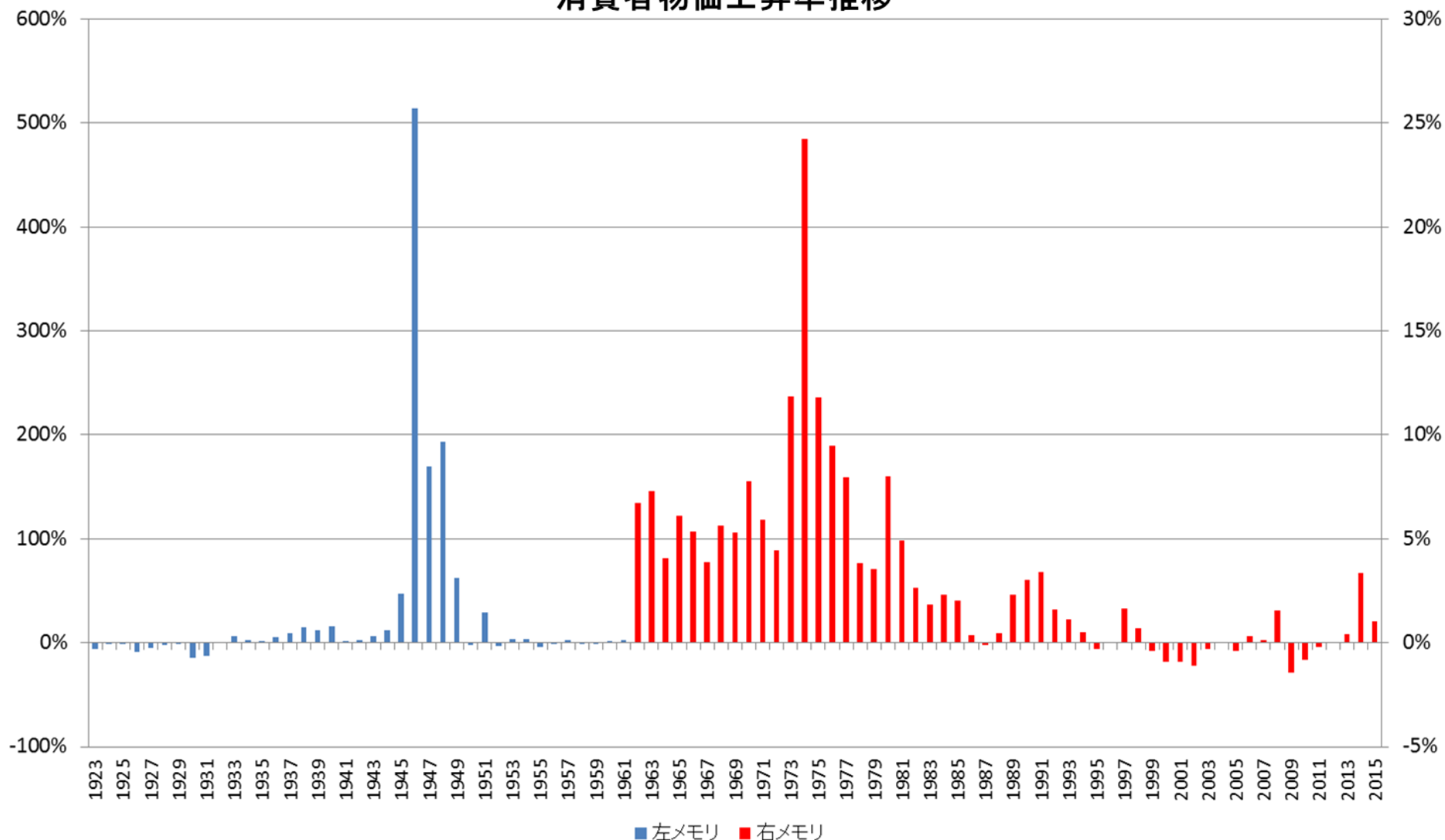
100万円が20年後に
↓
185万円~321万円

(注) 1985年以降の各年に、毎月同額ずつ国内外の株式・債券の買付けを行ったもの。各年の買付け後、保有期間が経過した時点での時価をもとに運用結果及び年率を算出している。

(出所) 金融庁 家計の安定的な資産形成に関する有識者会議(第1回)平成29年2月3日開催 事務局説明資料

【備える】インフレとデフレ

消費者物価上昇率推移



(出所)総務省 1961年までは東京小売物価指数、1962年からは全国消費者物価指数(持ち家の帰属家賃を除く総合)より三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成

主な留意事項

日本および外国の株式・債券への投資は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより、投資元本を割り込み損失が生じるおそれがあります。

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.404%(税込)(ただし約定代金が193,000円以下の場合には最大2,700円(税込))の手数料が必要となります。
- ・ 外国株式の外国取引(委託取引)には、現地委託手数料と国内取次手数料の両方が かかります。現地委託手数料等は、市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、表示することができません。詳しくは店舗窓口までお問合せください。国内取次手数料は、約定代金に対して最大1.080%(税込)の手数料が必要となります。

非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。

- ・ 詳しくは、当ページの「投資に係るリスクおよび手数料等について」または「重要事項のご説明」をご覧ください。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会